

特集

# The GREAT GATSBY

名門大学講師の講義に潜入!

## 原文で味わう! 20世紀文学の最高傑作

### 時代背景、キャラクター分析、文構造を徹底解説!

文学史に残る金字塔として名高い、F・スコット・フィッツジェラルドの『グレート・ギャツビー』。名前は知っているけど、原書を読んだことはない……という方も多いことでしょう。今回は、英語を学ぶ人にはぜひ知っておいてほしい20世紀アメリカ文学の最高傑作の1つ、*The Great Gatsby* を英語で読み解くコツを、第1章を中心にひもといていく企画です。本特集をチェックすれば、この名作を今までより深く、楽しく読めるはず!

解説・訳：深谷素子

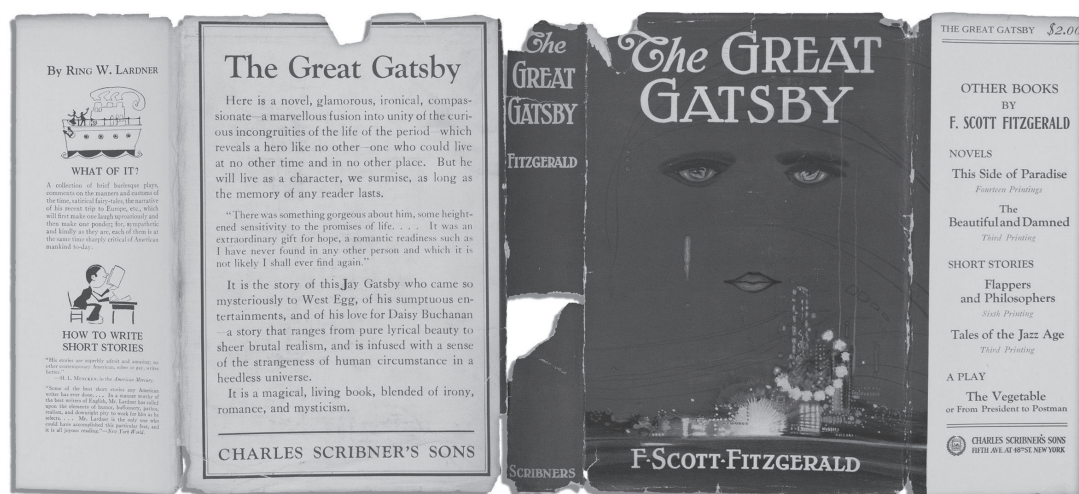
早稲田大学、明治大学、立教大学非常勤講師、成蹊大学常勤講師、  
慶應義塾大学専任講師を経て、現在鶴見大学准教授

編集：峯岸衿香

# THE GREAT

## 作品解説と読み方

せっかく *The Great Gatsby* を読み始めても途中で挫折してしまう人が多いのは、背景知識の不足が原因。NYを舞台にした恋物語なら簡単に理解できるはず！という予想はあっさり裏切られます。ほぼ100年前に書かれた作品ですから、背景知識を十分にインプットしてから読み始めましょう。



1925年にCharles Scribner's Sonsから出版された*The Great Gatsby*の初版。表紙はスペイン生まれの画家Francis Cugat (1893–1981)によるもの

## THE MAN WHO WROTE *THE GREAT GATSBY* 「英語で書かれた20世紀の小説ベスト100」第2位

F・スコット・フィッツジェラルド (F. Scott Fitzgerald, 1896–1940)は、20世紀アメリカを代表する小説家です。アメリカ中西部ミネソタ州に生まれ、私立の名門プリンストン大学へ進学します。大学時代、故郷で「良家の子女」ジネヴラ・キングと熱烈な初恋をするも失恋。*Ledger* (帳簿)と名づけられた彼の備忘録には“Poor boys shouldn't think of marrying rich girls” (貧乏な男子は裕福な女の子との結婚を考えてはいけない)と記されており、この経験がその後の作品に大きな影響を及ぼします。ジネヴラは*The Great Gatsby*のヒロイン、デージーのモデルの1人です。

デージーのもう1人のモデルは、妻のゼルダです。彼女も南部のお嬢様でした。フィッツジェラルドはゼルダと結婚するために、一攫千金を狙って処女作『楽園のこちら側』

(*This Side of Paradise*, 1920)を発表。これがベストセラーとなり、無事ゼルダと結婚。以後、「スコットとゼルダ」は、今で言うところの「インフルエンサー」となり、派手な浪費生活を繰り広げます。フィッツジェラルドは、浪費生活を支えるため短編小説を書いては売ることを余儀なくされますが、芸術としての小説執筆を諦めず、その努力の結晶が1925年発表の*The Great Gatsby*なのです。当初は期待したほどは売れませんでした、フィッツジェラルドの死後間もなく、これが世紀の大傑作と広く認められました。

1999年にモダンライブラリー編集部による「英語で書かれた20世紀の小説ベスト100」で2位にランクイン。村上春樹は、『ノルウェイの森』で主人公のワタナベに、「『ギャツビー』が僕にとっては最高的小説であり、1ページとしてつまらないページはなかった」と言わせています。